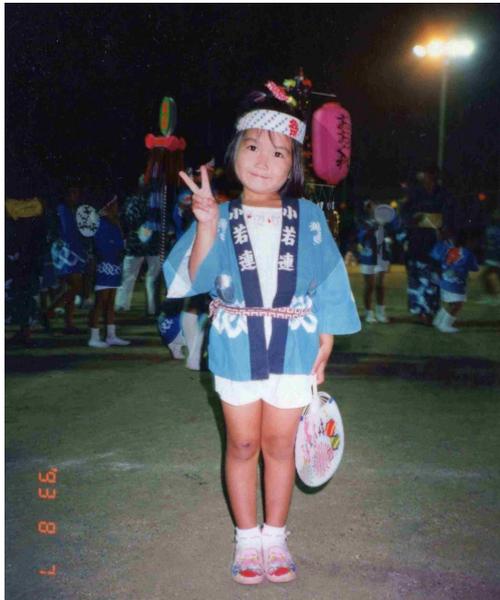


苦悩乗り越えた五輪 感謝忘れずプレーを



弦打保育所のときに地区の盆踊りに参加して=平成5年

塩田選手の 母親益さん

塩田沙代選手の母親の益(ますみ)さんの話。東京オリンピック代表内定にあたり、地域の皆様から多くの激励を頂き深く感謝いたしております。娘は鶴市町で生まれ育



父親の誠一さん、母親の益さんと一緒に=平成30年ごろ



弦打小学校の卒業式。母親の益さんと祖母の山口輝代さん=平成13年

ち、高松商業高校入学と同時にハンドボールを始めました。24歳でさらなる高みを目指し石川県の北國銀行に移籍し、夢を叶えるために数々の苦悩を乗り越え、たどり着いた舞台です。

今までお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず頑張つて欲しいと願っております。最後に、一日も早いコロナウイルス感染症の収束を心よりお祈り申し上げます。



祖母の山口輝代さんと夏越祭を参拝II岩田神社、令和2年

沙代ちゃん おめでとう

弦打校区コミュニティ協議会会長・大西輝清さんの話。小さな頃から「沙代ちゃん」と呼んで、塩田選手を知っている私は、この度のことは、自分の娘や孫がオリンピック

クに出るような感覚で、とても誇らしくうれしい!。開催が1年延期になった時、メンタルを保つのも大変だったと思うけれど、「夢をあきらめないで、本当によかったね」という思いでいっぱいです。厳しい道のりだったと思う。出場、本当におめでとう!



応援幟と横断幕が設置された弦打コミュニティセンター



力強さがにじみ出る応援幟の制作

- 東京オリンピック
- 7月23日—8月8日
- ハンドボール女子日本予選ラウンド 25日、対オランダ▽27日、対モ
- 2日、対ノルウェー
- 準々決勝 4日▽準決勝 6日▽決勝 8日
- 対韓国▽29日、対韓国▽31日、対アンゴラ▽
- 準々決勝 4日▽準決勝 6日▽決勝 8日